

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO) の東日本大震災被災者支援

キヤノン MJ が気仙沼市の高校写真部を対象とした写真教室を開催

NICCO / キヤノンマーケティングジャパン株式会社共催 ～みんなの笑顔プロジェクト～

2013年10月5日(土) 10:00～ 気仙沼高校(宮城県気仙沼市)

国内外で緊急支援・復興支援活動を行う国際協力 NGO「公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)」(本部:京都市中京区、理事長:小野 了代)は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社(本社:東京都港区、社長:川崎正己、以下キヤノン MJ)の協力を受け、10月5日に宮城県気仙沼市にて写真教室を開催いたします。今回は、気仙沼高校、気仙沼向洋高校、本吉響高校の写真部員を対象に、写真家の広田泉氏による撮影方法のレクチャーや、実際に一眼レフカメラを使った撮影を行います。

キヤノン MJ は、東日本大震災の被災地の復興支援活動として、「写真を楽しもう・自然と遊ぼう」をコンセプトとした「みんなの笑顔プロジェクト ～Smile for the Future～」を2012年から実施しています。これまでにNICCOを通じて、岩手県陸前高田市や宮城県名取市等で写真撮影プログラムを開催。人と人とのコミュニケーションづくりや、子どもたちの心を育むお手伝いを行っています。

つきましては、ぜひとも当日の取材・報道をお願いいたたく案内いたします。



スペシャルサイト: <http://cweb.canon.jp/csr/egao/index.html>

「みんなの笑顔プロジェクト」写真教室 開催概要

- 主催 公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO) / キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- 日時 2013年10月5日(土) 10:00～12:30 (※雨天実施、荒天の場合は中止)
- 場所 宮城県気仙沼高等学校 (〒988-0051 宮城県気仙沼市常楽 130)
- 参加者 気仙沼高校、気仙沼向洋高校、本吉響高校の写真部員 20-30名程度
- 講師 写真家 広田 泉 氏
- 内容 講師より撮影方法のレクチャー、写真撮影、プリントアウト、講評
- プログラム

10:00-11:00	オリエンテーション&広田氏からレクチャー
11:00-12:00	中庭や校舎内での写真撮影
12:00-12:30	プリントアウト&講評

このリリースに関するお問い合わせ先

公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)

■気仙沼事務所 <担当:吉田明男>

携帯:090-2798-2305 E-mail: akiokia2@gmail.com

■東京事務所 <担当:佐藤>

電話:03-3221-5721 FAX: 03-5213-4875

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-19 ツボヤビル 4F 2 号室

E-mail: info@kyoto-nicco.org URL: <http://www.kyoto-nicco.org>



■ 公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)の概要

内閣府認定公益社団法人、特定公益増進法人【寄付金控除】、国連特別協議資格団体

設立:1979年12月、代表者:理事長 小野 了代

1979年の設立以来、途上国の人々の経済的・精神的な自立を図るため、環境保全型農業に基づく農村開発、職業訓練、緊急災害支援等の分野でアジア、中東、アフリカの各国で活動を展開。2011年に発生した東日本大震災では、岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市、名取市を中心に震災直後から支援活動を続け、現在は心理社会的ケア、「子どもの夢応援団」プロジェクト、いけすの導入と漁師の販促力強化による漁業復興支援、「食卓から復興支援！新名産品づくり」プロジェクト、ボランティア派遣などを実施しています。



■ NICCO の宮城県気仙沼市での活動

NICCO は 2011 年 3 月から、東日本大震災で壊滅的な津波被害を受けた宮城県気仙沼市にて、モバイルクリニック（巡回医療）、地元調理師と協力しての炊き出し、ペストコントロール（害虫の発生監視と駆除作業）、「子どもの夢応援団」プロジェクト、仮設住宅コミュニティでの心のケア、農業復興支援、高齢者世帯などへの声かけ訪問・お弁当配布、建物の安全確認、津波体験館の改修サポートなど、さまざまな被災者支援活動を行ってきました。

現在は、気仙沼市唐桑町に現地事務所を置き、いけすの導入と漁師の販促力強化による漁業復興支援、「食卓から復興支援！新名産品づくり」プロジェクト、ボランティア派遣等の復興支援活動を実施しています。